



平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ドリコム

コード番号 3793 URL <http://www.drecom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内藤 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 戸谷 光久

TEL 03-3232-1600

四半期報告書提出予定日 平成21年11月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	1,072	2.4	82	695.5	79	—	1	—
21年3月期第2四半期	1,047	—	10	—	△3	—	△93	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	63.71	62.96
21年3月期第2四半期	△3,564.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第2四半期	2,054	—	1,429	—	63.8	48,794.87
21年3月期	2,175	—	1,419	—	59.8	48,696.35

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,311百万円 21年3月期 1,700百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,190	3.2	89	—	81	—	1	—	37.42

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表など】4. その他 をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表など】4. その他 をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|---------|-------------|---------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 26,876株 | 21年3月期 | 26,724株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | 一株 | 21年3月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 26,794株 | 21年3月期第2四半期 | 26,225株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期(6ヶ月)における我が国経済は、輸出や生産に伸びが見えてきたものの、世界経済の減速や円高の影響等を背景に勢いは弱く、国内における雇用情勢の一層の悪化やデフレが懸念されるところであり、また、過剰信用の巻き戻しなど世界の金融・経済の不確実性は一層高いものとなっております。

このような状況の下、当社グループは携帯コンテンツに関する事業を中心に好調に推移し、費用につきましても当初の予想よりも低く抑えられました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,072,045千円(前年同期比2.4%増加)、営業利益82,809千円(前年同期比695.5%増加)、経常利益79,975千円(前年同期は経常損失3,413千円)、四半期純利益1,706千円(前年同期は当期純損失93,478千円)となりました。

なお、事業別の営業の状況は以下のとおりであります。

ビジネスソリューション事業

ビジネスソリューション事業では、利益面の改善を目的とした展開を進め、主にストック型収益を重視してまいりました。しかしながら、景気低迷を受けて企業のIT投資意欲は消極的とならざるを得ず、事業といたしましては低調に推移いたしました。

以上の結果、ビジネスソリューション事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は344,134千円、営業損失は34,311千円となりました。

今後につきましては、後発事象にありますとおり、当社の事業の一部を譲渡することで投資の選択と集中を図り、当該部門の経営資源につきましては、ウェブサービス事業へ移行してまいります。

ウェブサービス事業

ウェブサービス事業では、株式会社ジェイケンを吸収合併し、携帯コンテンツに関する事業運営が効率化したことから投稿型携帯着信音配信事業や、携帯電話きせかえ事業が引き続き堅調に推移いたしました。

また、株式会社じげんにおける業界別総合情報サイトの運営などのインターネット媒体を通じた情報提供事業について好調に推移いたしました。

以上の結果、ウェブサービス事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は727,911千円、営業利益は117,119千円となりました。

今後につきましては、携帯課金コンテンツ等の既存事業をさらに拡大させるとともに、mixiアプリ等のソーシャルゲームに対する投資を本格化し、事業化を進めてまいります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は2,054,486千円となり、前連結会計年度末に比べ120,892千円減少しました。

その主な要因は、当社の完全子会社であります株式会社ジェイケンとの合併による繰延税金資産の回収可能性の見直しに伴う取崩しによる繰延税金資産の32,479千円減少に加えて、有利子負債の返済を66,200千円行ったことや法人税の支払による未払法人税等52,278千円の減少などがあったことによるものであります。

自己資本比率につきましては、新株予約権の権利行使等により資本金及び資本準備金が8,342千円増加したことにより、自己資本が10,049千円増加したことに加え、負債が131,116千円減少したことにより63.8%と前連結会計年度末から4.0ポイント改善いたしました。

(キャッシュフローの状況)

当四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は584,100千円となり、前連結会計年度末と比較して67,259千円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は60,099千円の収入(前年同四半期は11,423千円の収入)となりました。

主なプラス要因は、税引等調整前四半期純利益の計上額75,111千円、減価償却費の計上額21,460千円、のれん償却費の計上額49,795千円、売上債権の減少額9,693千円であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額89,643千円、未払金の減少額13,848千円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は69,502千円の支出(前年同四半期は112,757千円の支出)となりました。

主な要因は無形固定資産の取得による支出46,530千円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は57,857千円の支出(前年同四半期は164,788千円の収入)となりました。

主な要因は長期借入金の返済による支出66,200千円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の連結売上高は携帯コンテンツに関する事業を中心に好調に推移いたしました。

さらに、費用につきましては、合併により引継いだ繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、同資産を取り崩したことにより法人税等調整額を32,479千円計上したことや合併した子会社の利益が計画を上回ったこと等により、子会社における法人税等の計上を行ったものの、保守的に見積もった営業費用が想定よりも少なく推移したことから、売上高、営業利益及び経常利益並びに当期純利益につきましては当初計画を大幅に上回る結果となりました。

通期に関しまして、業績は好調に推移しておりますが、平成21年10月26日付にて一部プログパッケージ事業の譲渡を行う他、mixiアプリ等の新規事業への投資を本格化してまいります。また、現在の経済環境が依然不透明であることから変動要因を見込むことが困難であることを鑑み、売上面、利益面の各計画値は現時点では変更しておりません。なお、当該事業譲渡に伴い発生する特別利益につきましては、平成22年1月末日を以って決定いたします。

以上のことから、通期の業績予想につきましては、5月14日に公表した数値を変更しておりません。

今後、変更が必要となった場合には速やかに開示させていただきます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第2四半期会計期間において、下記のとおり連結子会社の異動がございました。

1. 吸収合併による連結子会社の消滅

平成21年3月25日開催の取締役会決議を受けて、当社の連結子会社である株式会社ジェイケンを平成21年5月1日付けで吸収合併いたしました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の簿価切下げの方法は、収益性が低下していることが明らかな棚卸資産のみ正味売却価額を見積もる方法としております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	584,100	651,360
受取手形及び売掛金	439,548	449,242
商品及び製品	294	355
仕掛品	257	-
原材料及び貯蔵品	1,525	2,054
繰延税金資産	1,713	19,149
前払費用	36,063	33,542
その他	551	13,444
貸倒引当金	18,249	17,779
流動資産合計	1,045,805	1,151,369
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	19,633	20,464
工具、器具及び備品(純額)	22,584	24,577
有形固定資産合計	42,217	45,041
無形固定資産		
のれん	747,247	796,508
ソフトウェア	120,517	91,979
ソフトウェア仮勘定	5,440	892
その他	2,780	3,612
無形固定資産合計	875,985	892,993
投資その他の資産		
長期前払費用	1,567	2,173
繰延税金資産	-	11,953
敷金	83,680	67,731
その他	5,230	4,115
投資その他の資産合計	90,477	85,973
固定資産合計	1,008,680	1,024,009
資産合計	2,054,486	2,175,378

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,922	12,866
1年内返済予定の長期借入金	132,400	132,400
未払金	161,691	175,540
未払法人税等	21,474	73,753
未払消費税等	16,474	18,207
前受収益	25,837	28,323
前受金	75,554	78,749
賞与引当金	-	320
ポイント引当金	7,997	9,176
その他	27,682	32,614
流動負債合計	497,035	561,952
固定負債		
長期借入金	127,600	193,800
固定負債合計	127,600	193,800
負債合計	624,635	755,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,042,338	1,038,166
資本剰余金	1,283,318	1,279,146
利益剰余金	1,014,245	1,015,952
株主資本合計	1,311,410	1,301,361
新株予約権	3,874	7,918
少数株主持分	114,565	110,346
純資産合計	1,429,850	1,419,626
負債純資産合計	2,054,486	2,175,378

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	1,047,301	1,072,045
売上原価	343,415	288,853
売上総利益	703,885	783,192
販売費及び一般管理費	693,475	700,383
営業利益	10,410	82,809
営業外収益		
受取利息	861	129
受取配当金	100	-
消費税差益	-	748
還付加算金	-	379
その他	586	714
営業外収益合計	1,547	1,971
営業外費用		
支払利息	6,230	2,483
株式交付費	4,771	7
事務所移転費用	2,632	-
支払手数料	-	2,000
その他	1,736	315
営業外費用合計	15,370	4,806
経常利益又は経常損失()	3,413	79,975
特別利益		
ポイント引当金戻入益	710	906
新株予約権戻入益	-	6,250
持分変動利益	3,187	-
特別利益合計	3,897	7,156
特別損失		
減損損失	18,986	-
和解金	-	10,000
その他	-	2,021
特別損失合計	18,986	12,021
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	18,502	75,111
法人税、住民税及び事業税	76,361	39,795
法人税等調整額	855	29,390
法人税等合計	77,217	69,185
少数株主利益又は少数株主損失()	2,241	4,218
四半期純利益又は四半期純損失()	93,478	1,706

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	18,502	75,111
減価償却費	21,126	21,460
のれん償却額	77,321	49,795
減損損失	18,986	-
株式報酬費用	-	2,205
貸倒引当金の増減額(は減少)	7,535	469
賞与引当金の増減額(は減少)	4,275	320
受取利息及び受取配当金	961	129
支払利息	6,230	2,483
株式交付費	4,771	-
新株予約権戻入益	-	6,250
持分変動損益(は益)	3,187	-
和解金	-	10,000
その他の特別損益(は益)	-	930
売上債権の増減額(は増加)	113,872	9,693
たな卸資産の増減額(は増加)	9,013	333
前払費用の増減額(は増加)	3,701	2,728
仕入債務の増減額(は減少)	1,818	15,055
未払金の増減額(は減少)	40,316	13,848
未払消費税等の増減額(は減少)	15,649	1,732
その他	3,913	639
小計	167,415	161,890
利息の受取額	961	129
利息の支払額	6,230	2,276
和解金の支払額	-	10,000
法人税等の支払額	150,723	89,643
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,423	60,099
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	29,200	5,787
無形固定資産の取得による支出	35,335	46,530
差入保証金の差入による支出	1,907	1,115
敷金の回収による収入	316	-
敷金の差入による支出	46,631	15,949
その他	-	119
投資活動によるキャッシュ・フロー	112,757	69,502

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	338,600	-
長期借入金の返済による支出	406,200	66,200
株式の発行による収入	899,598	8,342
少数株主からの払込みによる収入	9,990	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	164,788	57,857
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	63,453	67,259
現金及び現金同等物の期首残高	625,479	651,360
現金及び現金同等物の四半期末残高	688,933	584,100

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	ビジネス ソリューション事業 (千円)	ウェブ サービス事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	465,616	581,684	1,047,301	-	1,047,301
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	(-)	-
計	465,616	581,684	1,047,301	(-)	1,047,301
営業利益又は営業損失 ()	96,938	107,348	10,410	(-)	10,410

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	ビジネス ソリューション事業 (千円)	ウェブ サービス事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	344,134	727,911	1,072,045	-	1,072,045
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	13,196	3,813	17,009	(17,009)	-
計	357,330	731,725	1,089,054	(17,009)	1,072,045
営業利益又は営業損失 ()	34,311	117,119	82,809	(-)	82,809

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

本邦意外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

(重要な後発事象)

1. 株式会社ガイアックスとの法人向けログパッケージ部門の事業譲渡契約書の締結について

当社は、平成21年10月26日付にて事業譲渡契約書を締結いたしました。

その概要は次のとおりであります。

(1) 事業譲渡の理由

当社は設立当初より、法人向けにログサービスを構築するためのパッケージ製品の提供事業を行ってまいりましたが、2010年3月期第1四半期における当該事業の当社の売上内訳におきまして、その割合は10%未満となっております。こうした事業環境の変化の中、当社内における事業シナジーを考慮し、本件対象事業における経営資源を他の事業に集約することで、注力事業における優位性の確保と企業価値の向上を図れるものと判断し、本件対象事業を譲渡することといたしました。今後は事業の選択と集中により、エンタメウェブ事業並びにアドソリューション事業に注力してまいります。

(2) 事業譲渡の対象

法人向けCGMウェブシステム(ログ、SNS、ログセット)

法人向け社内ログのパッケージ版(ASPサービスは譲渡の対象外となります。)

(3) 事業譲渡先の名称

商号 株式会社ガイアックス

本店所在地 東京都品川区西五反田1-21-8 KSS五反田ビル8階

(4) 事業譲渡した事業の規模等

平成21年3月期 売上高 337百万円

(5) 譲渡価額

法人向けログパッケージ事業の平成22年1月末日における純資産等を鑑み決定し、現金により決済します。

(6) 事業譲渡日

平成22年3月31日予定

(7) その他重要な影響

該当事項はありません。

2. ストック・オプションの発行について

当社は、平成21年5月20日開催の取締役会で決議し、平成21年6月24日開催の当社第8期定時株主総会において承認可決されました「ストック・オプションとして新株予約権を発行する件」に基づき、平成21年11月5日開催の取締役会において、当社の取締役及び従業員に対して、新株予約権の募集事項を決定し、当該新株予約権を引き受けるものの募集をすること等につき決議いたしました。

(1) 新株予約権の割当日 平成21年11月6日

(2) 新株予約権の募集対象者 当社の取締役及び従業員

(3) 新株予約権の総数 305個

上記総数は、割当予定数であり、割当予定数に対する申込の総数が上記の総数に達しない場合など、割当てる新株予約権の総数が減少した場合は、割当てる新株予約権の総数をもって発行する新株予約権の総数とする。

(4) 新株予約権の払込金額 金銭の払い込みを要しないものとする。

(5) 新株予約権の目的となる株式の種類および数 普通株式 305株

(6) 新株予約権の行使期間 平成23年11月7日から平成25年11月6日までとする。